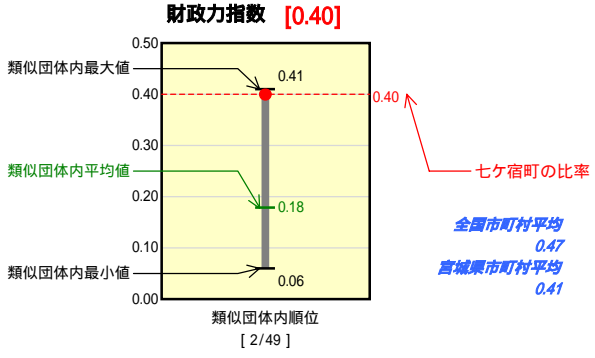


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

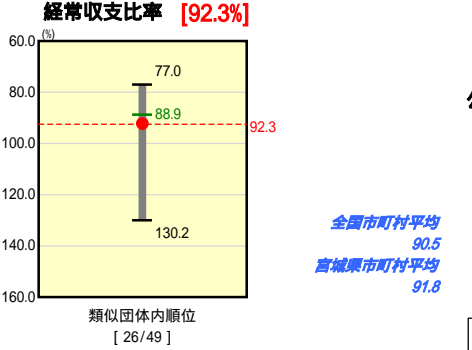
## 宮城県 七ヶ宿町

人口	1,916人(H17.3.31現在)
面積	263.00 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,296,283千円
歳出総額	2,208,101千円
実質収支	49,592千円

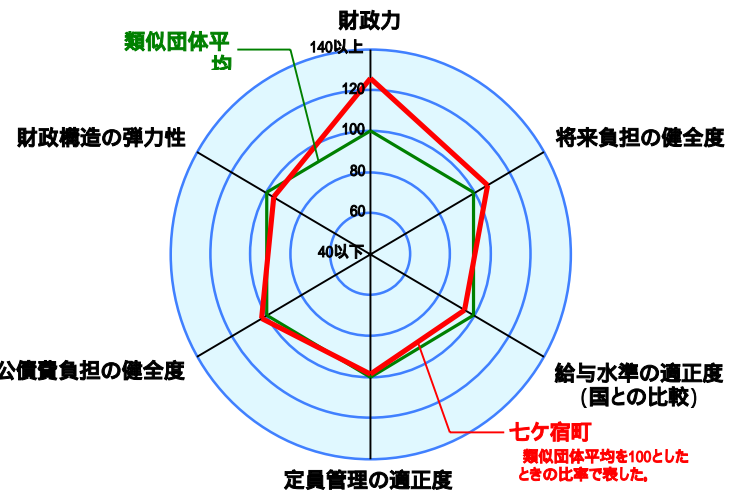
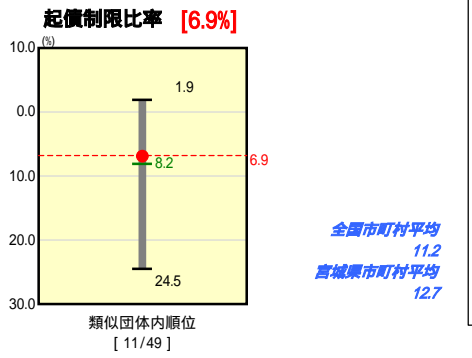
### 財政力



### 財政構造の弾力性



### 公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

**分析概**

**財政力指数**  
 ・ここ3年間僅かながら連続した伸びとなっており、類似団体平均を上回る0.40となっている。七ヶ宿町が所在することによる市町村交付金が340百万円と基準財政収入額の35.2%を占めていることが類似団体平均を上回る要因となっている。

**経常収支比率**  
 ・歳入における経常一般財源の状況はH12年度を基準として見ると、総額で370,655千円の減となっている。普通交付税については、530,627千円、率にして42.0%の減となった一方、歳出でもH12年度を基準とすると、1,254,49千円を削減している。対H12年度比で歳出総額が8.0%の減に対し、歳入総額は19.2%の減となっている。行政経費を削減した以上に、普通交付税及び臨時財政対策債が減額となるため、経常収支比率は年々上昇し、9.0%を超える192.3%となった。

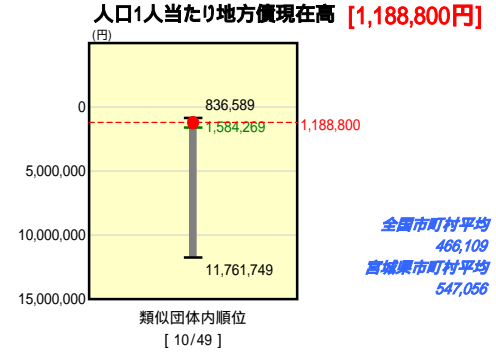
**起債制限比率**  
 ・過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っているが、事業厳選による地方債発行額2億円の上限設定などにより、引き続き水準を抑える。

**人口1人当たり地方債現在高**  
 ・近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後、平成17年度～平成21年度にかけて学校施設の耐震化事業や移動通信設備の整備など緊急性や必要性の高い事業を予定しており、新規の地方債発行額(796百万円)が見込まれる。一時的に類似団体平均を上回ることも予想されるが、その後は新規地方債の発行抑制に努める。

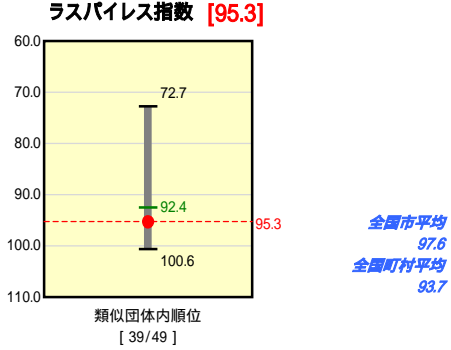
**ラスパイレス指数**  
 ・平成10年度をピークに職員給与は減少(48百万円)しているものラスパイレス指数として見ると類似団体平均を2.9ポイント上回っている状況である。今後は定員適正化計画に基づき退職不補充を継続するなどによりラスパイレス指数の抑制に努めていく。

**人口1,000人当たり職員数**  
 ・類似団体平均を0.73ポイントと僅かに上回っている。昭和60年度に町管スキー場を開業したのをきっかけとして平成7年度までに職員数が11人増となった。平成8年度以降は年々職員数は減少し平成16年度には昭和60年度に比べ3名増にまで減少してきた。指定管理者制度による施設管理の外部委託を図るなど事務事業の削減や退職不補充等により職員の削減を図る。

### 将来負担の健全度



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 定員管理の適正度

